

2024年8月2日  
出光興産株式会社

**徳山事業所における HEFA-SAF 製造プロジェクトの FEED 移行について**  
**油脂等を原料とした年間 25 万 kL の SAF 生産開始（2028 年度）に向け前進**

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：木藤俊一、以下「当社」）は、徳山事業所（山口県周南市、執行役員所長：太田義彦）での HEFA<sup>\*1</sup> 技術による SAF（持続可能な航空燃料）製造プロジェクトについて、FS（Feasibility Study：事業化調査）<sup>\*2</sup> を完了し、次のフェーズである FEED（Front-End Engineering & Design：基本設計）<sup>\*3</sup> に移行することを決定しました。2030 年までの年間 50 万 kL の国内供給体制の構築に向け、徳山事業所において年間 25 万 kL の SAF 生産を 2028 年度から開始することを目指します。

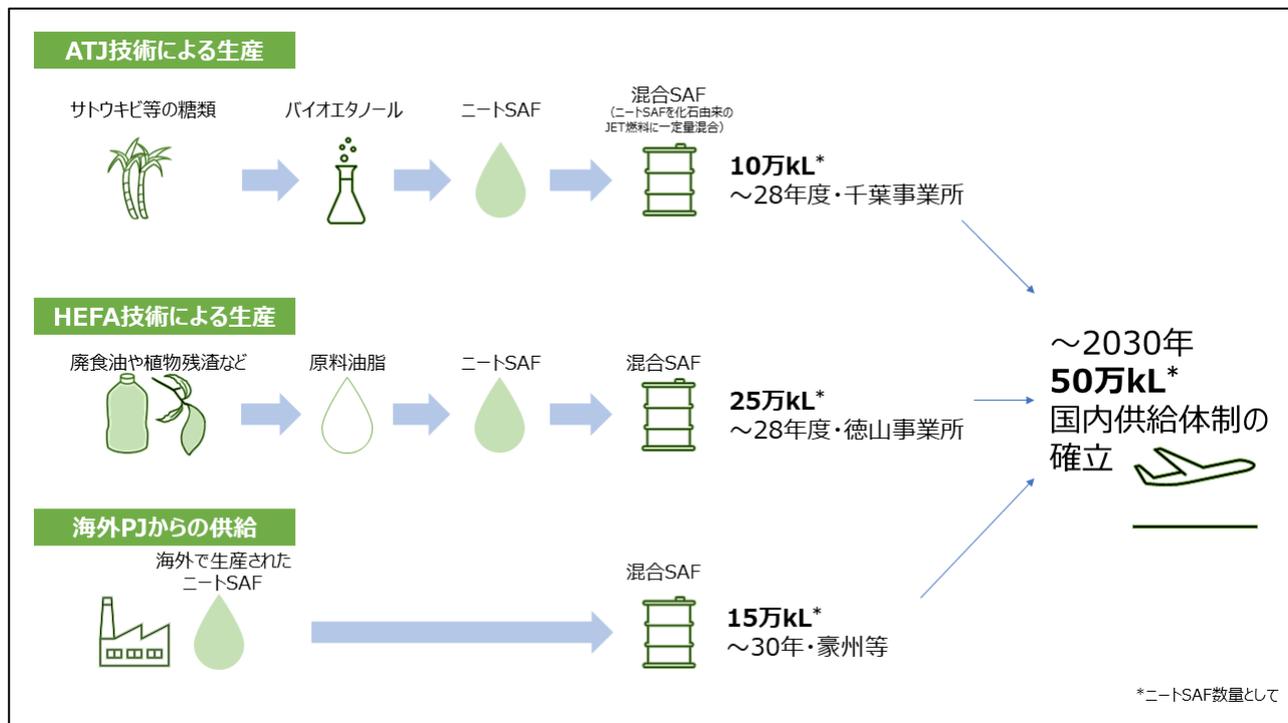


HEFA-SAF 製造設備の建設予定地である徳山事業所（写真中央）

FS では徳山事業所内における建設候補地の検討、所内設備への建設影響や工程・工期の確認などを行ってきました。FS を完了し、実現性を有するとの結論に至ったことを受け、FEED に移行する判断をいたしました。HEFA-SAF 製造設備は 2028 年度の完工・運転開始を目指しています。原料には廃食油、獣脂等の廃棄物原料や大豆油、将来的にはポンガミア等の油糧植物といった、GHG（温室効果ガス）削減率の高い複数の油脂を活用する計画です。

当社は、2030 年までに本邦エアラインによる燃料使用量の 10% を SAF に置き換えるという日本政府および航空業界の当初目標実現のために、年間 50 万 kL の SAF 供給体制の

構築を目指しています。千葉事業所でのグリーン・イノベーション基金を活用した ATJ<sup>※4</sup> 技術導入による実証生産（年産 10 万 kL）、徳山事業所での HEFA 技術による生産（年産 25 万 kL）、当社が参画する海外プロジェクトからの供給（年 15 万 kL）に向けた取り組みを進め、航空燃料の脱炭素化に貢献してまいります。



当社が目指す SAF 供給体制

※1 HEFA (Hydroprocessed Esters and Fatty Acids)

植物油などを水素化処理して得られる水素化エステル・脂肪酸から SAF を製造する技術・プロセス。SAF の国際規格「ASTM D7566 Annex2」として認証されている。

※2 FS (Feasibility Study)

プロジェクトの実現可能性を事前に調査・検討すること。

※3 FEED (Front-End Engineering & Design)

FS の後に行う基本設計。プロジェクトにおける課題、リスク、費用などをより詳細に精査し、プラントの基本仕様を決定すること。

※4 ATJ (Alcohol to Jet)

エタノールなどから SAF を製造する技術・プロセス。SAF の国際規格「ASTM D7566 Annex5」として認証されている。

< 関連リンク >

- ・ 1分でわかる「SAF が創る未来の空」

[https://www.idemitsu.com/jp/business/oil/lowcarbon/saf\\_future.html](https://www.idemitsu.com/jp/business/oil/lowcarbon/saf_future.html)

- ・ SAF 供給体制の構築。その道筋と Idemitsu の挑戦 (事業開発担当者インタビュー)

<https://www.idemitsu.com/jp/company/interview/k-toyotsu.html>

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

[https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease\\_flow/index.html](https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html)